

<h1>所報</h1> <h1>すくも</h1>	<p>発行 宿毛市教育研究所 宿毛市長田町 3-80-11(宿毛市教育委員会内) TEL 63-1127 FAX 62-0076 E-mail sukumo-l@city.sukumo.lg.jp (LGWAN 系) sukumo-l@kochinet.ed.jp URL http://www.kochinet.ed.jp/sukumo-l/</p>
--------------------------	--

宿毛市のキャリア教育について

コロナ感染拡大防止により、各種研修の中止が相次ぐ中、校内研修の中で講話やワークショップを行う機会をいただいています。

先日は平田小学校から「市外から赴任してきた先生方のためにも、改めて宿毛市のキャリア教育について話してほしい」という要望をいただき、高見所長が研修を行いました。

今年度から小学校で施行されている新学習指導要領の総則改正の要点の中に「キャリア教育の充実」が示されています。特別活動が「キャリア教育の要」と明示され、今後ますますキャリア教育が重要になるということ、新学習指導要領総則やパワーポイントの資料等を使って、伝えられていました。



宿毛市は平成25年度から3年間、指定を受けてキャリア教育に関する研究を行いました。その当時のことも話の中に組み入れながら、現在の宿毛市のキャリア教育における現状等を話されていたので、その当時宿毛市内で勤務されていなかった先生方にも分かりやすい内容になっていたと思います。

キャリア教育を推進していく上で大切なこと

- *キャリア教育全体計画・年間指導計画が、9年間を見通したものになっている
- ・小中連携の必要性→児童生徒の弱いところを小中学校で共有し、重点に置く付けたい力を決定するなど
- ・校内での共通理解
- ・持続可能なように、無理のない計画

*キャリア教育の視点を入れた授業実践

- ・「この教科をなぜ学ぶのか」「この学習を通して、どういった力が身に付くのか」「この学習が実生活や将来の社会と、どうつながっているのか」等を、授業を計画していく段階で、どう教師が意識するか →キャリアの視点を、指導案にも具体的に記載する
- ・授業の中で、児童にキャリアの視点を伝えているか

*キャリアノートの活用

- ・振り返りを大切にしているか→児童生徒が、自分に身に付いた力を自覚することで、確かな力となる
- ・キャリアノートを書かすのは、最後だけでなく、途中で書かせることも良い。教師の意図する付けたい力と、生徒が自覚する付けたい力がずれてないかどうか確認し、自分の授業を振り返る機会となる。
- ・友達の振り返りを学級で共有したり、1年間を振り返りまとめたりすることも大切

プログラミング研修



今年度から小学校で始まるプログラミング教育を行うにあたって、「どのようなプログラムがあるのかを教えてほしい」という要望があり、4月15日に情報等担当の井下さんが橋上小学校に伺い研修を行いました。

ふれあい教室でも人気のある「キャラクターが画面上を動く(スクラッチ)」と「ミニカーが実際に動くプログラム(プロロボUSB)」を紹介し実際に作成してもらうことで、プログラミングはそんなに難しいものではないということを体験してもらいました。

会の中で、モデルとして示した手順を見て、「それが最善の答えですか？」という質問がありましたが、作成者によって何通りもの答えがあることがプログラミング教育の面白いところの一つだと思います。実際に体験された先生方は、興味を持って取り組まれ、「面白すぎて、あっという間だった。」という声も聞かれました。

橋上小学校では、実際にクラブ活動等で活用する計画となっているそうです。



プログラミング研修②

橋上小学校の先生方から「プログラミング教育に関して、ステップアップしていきたい」というお声をいただき、6月24日に情報等担当の井下さんが、再度研修を行いました。

今回は、プログラミングの種類（アンプラグ プログラミング、フィジカル プログラミング、ヴィジュアル プログラミング）について説明した後、算数の授業で使えるプログラミング教室を行いました。これは、「辺の長さが



全て等しく、角の大きさが全て等しい」という正多角形を描く方法について、プログラミングを用いて考えるという学習活動（小学五年生「正多角形の作図」）です。この実践事例は、「小学校プログラミング教育に関する研修教材（文部科学省）」で紹介されており、先生方には正方形と正三角形を描くことに挑戦してもらいました。先生方は、初めて体験する活動に、子どもに戻ったように楽しんで取り組まれていたそうです。

コンピューターで正三角形を描こうと、角度を入力してみると正六角形が描かれてしまったということは、この活動ではよく起こることなのですが、じゃあどうすれば正三角形が描けるのかということを見童が話し合ったりする活動も面白そうだなと思ったことでした。

不登校児童・生徒の支援について

教育相談センターの活動

【ふれあい教室】

安心できる場・自信をつける場・人間関係を広げる場

○一人ひとりの子どもの心と姿をありのままに受け入れ、子どもがゆとりと自信をもつことを大切にする居場所作りをする。

学習の場、規律を身につける場

○児童・生徒が家庭そのもののよう気ままに過ごす場所ではない。

○学校と家庭の中間的位置に存在する。そのためにねらいをしっかりとち、活動内容を計画的に実施していくことによって児童・生徒を支援していく。

【相談活動】

① 教育相談(カウンセリング) 毎週月・木曜日 9:00~12:00 13:00~16:00

1回の相談時間は約50分

カウンセラー: 西岡 SC(スクールカウンセラー)

② 一般相談(相談センター) 月、火、木、金 9:00~12:00 13:00~17:00

(金曜日は16:00まで)

相談員 : 沖本 主任教育相談員

* ①②については時間調整が必要なため、事前連絡をお願いします。

他にも【支援活動】【研修活動】【広報活動】で学校・家庭・関係機関等と連携していきます。

SSWの活動

主な活動として

○訪問活動(学校、保育園、各関係機関、家庭)

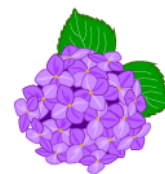
○地域のサポート機関の紹介、情報収集・提供

○保護者、児童・生徒への支援

など、SSWの活動と教育支援センターの活動を併せて行っています。



今年度も学校との緊密な連携を図りながら、不登校児童生徒の支援に努めていきますので、よろしくをお願いします。



今年度の宿毛市教育研究会 中止のお知らせ

5月に予定していた教育研究会研修・役員理事研修会・第1回研修が中止となり、組織作りができなかったために、その後の各研究を行うことが難しいと判断いたしました。そのため、今年度の教育研究会の開催は中止といたします。

